

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	職員 自己評価		保護者 ご意見	
		はい 1は641	いいえ 1は641					
① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	◎	1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 各児童の特性に沿った支援の提供を考えると不十分な場面があり、今後どのように使用していくか検討が必要。 		<ul style="list-style-type: none"> 雨の日は好きに過ごすには人が多いかと思う。 	
	◎	2	6	0				
② 職員の配置数は適切であるか	◎	0	4	1	<ul style="list-style-type: none"> シフト制であり、日々利用者人数も違う為、法廷上は問題ないが、実際に動くと一緒に適切であると言えない。 利用人数によりバランスの悪い日がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 何人に対して何人いるのか、見ていないので分からない。 一人一人に合った療育を考えると難しい人数ではないか。 	
	◎	2	3	9				
③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか	◎	0	4	1	<ul style="list-style-type: none"> スロープの導入等、改善はしているが車椅子が通るには狭いスペースがある 等不十分な個所がまだある。 手すりの設置等、検討が必要な場所がある。 		<ul style="list-style-type: none"> 分からないため、判断できない。 	
	◎	2	5	6				

環境・体制整備

【まとめ・考察】

- 利用定員に沿ったスペース確保はまだ適切とはいえない状態である。子どもの特性を理解しながら、的確なスペースの提供に努めることで改善していく。
- 法廷上の人数配置だけでなく、実際の現場の状況によって職員の配置を考えていく。
- 現段階でもバリアフリー化を行っているが、今後も不十分な個所の改善をしていく。

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

子エック項目	職員 自己評価			保護者 ご意見
	はい (1は5は1)	どちら も (1は5は1)	いいえ	
① 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・担当職員、療育担当者、児発、管理者での検討会議の取り組みを開始したが、できないことも多い。
	<input type="radio"/>	2 9	3 0	
② 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園などの外出の際には、地域の子どもと触れ合う機会がある。 ・聞いたことがない。
	<input type="radio"/>	8 8	1 5 8	
③ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・計画期間内での変化に対して分析はしているが、計画変更までに至っていない。
	<input type="radio"/>	4 4	2 0	
④ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・標準化されたアセスメントツールを使用しているが、年齢と障害の程度に幅があり、発達に合わせたアセスメントツールも検討する必要がある。
	<input type="radio"/>	2 2	2 1	
⑤ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> ・行事担当が中心となり、内容を考え
	<input type="radio"/>	4 4	1 0	

適切な支援の提供

H30年度 ガイドライン

自己評価・保護者評価 まとめ

	⑥	1	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に合わせて活動内容を変更することはあるが、主要の内容は固定化されてしまっている。 ・今後もできるだけ内容が固定化しないよう検討している。 	
⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか及び工夫されているか	<input checked="" type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 9	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 0	<ul style="list-style-type: none"> ・休日や長期休暇ではプログラムを通じて活動を行っている。平日はストレッツの時間を通じて体の使い方について全体で取り組んでいる。全体に利用時の人数、年齢や障害の程度が幅広く全体での課題設定が難しい。 	
⑧	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 3	<input type="radio"/> 4 <input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 0	<ul style="list-style-type: none"> ・休日や長期休暇ではプログラムを通じて活動を行っている。平日はストレッツの時間を通じて体の使い方について全体で取り組んでいる。全体に利用時の人数、年齢や障害の程度が幅広く全体での課題設定が難しい。 	
⑨	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、放課後等サービス計画を作成しているか	<input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 0	<ul style="list-style-type: none"> ・作成している。集団活動の難しい利用者に対して、利用計画書に沿って個別療育や言語聴覚士や理学療法士による個別対応をしている。 	
⑩	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input checked="" type="radio"/> 3 <input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 0	<input type="radio"/> 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ほぼ毎日支援前にミーティングを行っている。 	

適切な支援の提供

H30年度 ガイドライン

自己評価・保護者評価 まとめ

⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	働	2	0	3	・気付いた職員が数人に発信するのではなく、全体に発信できる環境をつくる。	
⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	働	4	1	0	・計画に合わせた記録の記入をするようにしているが、利用者の変化や改善に間に合っていないことがある。	
⑫	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	働	5	0	0	・相談員と連携がとれており、計画へ反映させている。	
⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	働	2	3	0		

適切な支援の提供

【まとめ・考察】

- ・支援が固定化しないように、全職員間で意見交換していく。

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

チェック項目	はい	どちらか		いいえ	職員 自己評価		保護者 ご意見
		1	2				
① 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	職	1	2		<ul style="list-style-type: none"> 現場で働く職員の意見が反映されていない。 一部の職員の意見で進んでいることがある。 		
	保	/					
② 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	職	1	0		<ul style="list-style-type: none"> 実行可能なことについては、少しずつ改善している。 		
	保	/					
③ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	職	4	1		<ul style="list-style-type: none"> 公開している。 		
	保	/					
④ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	職	2	2				
	保	/					
⑤ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	職	1	0		<ul style="list-style-type: none"> 新人職員の研修、事業所内で研修がある。 		
	保	/					

業務改善

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

【まとめ・考察】

・様々な職員から意見が出るように聞き取り等改善を努め、業務改善につなげていく。

チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	職員 自己評価	保護者 ご意見
		1/3/4/1				
① 障害児相談支援事業所のサ ービス担当者会議にその子ども の状況に精通した最もふさわし い者が参画しているか	<input checked="" type="radio"/>	3	2	0	・回数は少ないが、管理者や児童発 達支援管理責任者、担当と参加して いる。	
② 学校との情報共有（年間計 画・行事予定等の交換、子ど もの下校時刻の確認等）、連 絡調整（送迎時の対応、トラ ブル発生時の連絡）を適切に 行っているか	<input checked="" type="radio"/>	4	0	2	・学校や事業所と保護者を含め、トラ ブルがあった時は、臨機応変に対応を している。	
③ 医療的ケアが必要な子どもを 受け入れる場合は、子どもの主 治医等と連絡体制を整えてい るか	<input checked="" type="radio"/>	3	2	0	・受け入れの際は、主治医の受診に同 行させてもらっている。その後の変化に ついては、保護者を通じて連絡調整を している。	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

H30年度 ガイドライオン 自己評価・保護者評価 まとめ

	④ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	 <input type="checkbox"/> 3 	2	0	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からのみの情報で、情報共有があまりされていない。 	
	⑤ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	 <input type="checkbox"/> 5 	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 法人内へのサービス事業所へは、引継ぎ書を作成し申し送りしているが、他事業所への引き継ぎはされていない。 	
	⑥ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	 <input type="checkbox"/> 1 	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 県主催の発達等についての研修に参加している。 	
	⑦ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	 <input type="checkbox"/> 0 	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 今後行いたい。 公園外出以外の企画が必要。 	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑧ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	 <input type="checkbox"/> 0 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> できていない。 	

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

⑨	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状態や課題について共通理解を持っているか	○	3	0	・保護者との関係性を維持した上で、課題を取り組んでもらう環境をつくる。特に利用回数の少ない利用者に対しては、不十分だと感じる。	・問題行動についてはお互い理解していると思われるが、その分析や根本の問題に対しては不十分かと思う。 ・こういった深い話をする機会は少ない。
		保	2 9	3		
⑩	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	2	2	1	
		保	保			
<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の理解を得ながら、関係機関との連携をとっていく。 ・保護者との面談等の機会を増やしていく。 						
チェック項目		はい	どちらか	いいえ	職員 自己評価	保護者 ご意見
		1132011				
①	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	4	1	0	・説明はできているが、今後内容を変更したほうがよい項目がある。
		保	保			
②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に感じ、必要な助言と支援を行っているか	○	4	1	0	・必要に応じて行っている。
		保	保			
保護者への説明・説明責任						

H30年度 ガイドライン

自己評価・保護者評価 まとめ

③	<input checked="" type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 6			0	2	・事業所単独では行っていないが、法人全体で行っている。
	③ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか					
④	<input checked="" type="radio"/> 4 <input checked="" type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 0			0	2	苦情があった場合出来るだけ丁寧に、聞き取りを行い出来るだけ早く対応することを心掛けている。
	④ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか					
⑤	<input checked="" type="radio"/> 3 <input checked="" type="radio"/> 1 <input checked="" type="radio"/> 0			1	0	事業所としては、定期的な会報を発行はしていないが、法人全体の会報は年4回程発行している。行事については、年間行事予定の発行や利用申し込み書で事前にお知らせをしている。
	⑤ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか					
⑥	<input checked="" type="radio"/> 5 <input checked="" type="radio"/> 0 <input checked="" type="radio"/> 28			0	0	
	⑥ 個人情報に十分注意しているか					

保護者への説明・説明責任等

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

⑦ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	<input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 0			帰りの送迎の際、利用時の様子を伝えるようにしている。必要があれば、直接保護者へ連絡をとるようにしている。内容により、子どもと保護者と一緒に話したり、別々に話しをするなど状況により話す環境を分けている。
	<input checked="" type="radio"/> 28	<input type="radio"/> 4	<input type="radio"/> 0	
⑧ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	<input checked="" type="radio"/> 2 <input type="radio"/> 1 <input type="radio"/> 2			<ul style="list-style-type: none"> ・事業所単独の行事に招待してはいないが、年 1 回の法人の行事については、地域の学校や公民館や関係各所にチラシやポスターを依頼している。
⑨ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	<input checked="" type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 9 <input type="radio"/> 3			<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明をしているが、質問があった場合には、その都度、事務職員や管理者が直接説明をしている。
⑩ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	<input checked="" type="radio"/> 2 <input checked="" type="radio"/> 5 <input type="radio"/> 6 <input type="radio"/> 0			

保護者への説明・説明責任

・従来の方法を継続しつつ保護者への説明責任を果たしながら、保護者の要望に合わせて、より丁寧な説明を行っていく。

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

チェック項目	H31 1月6日			職員 自己評価	保護者 ご意見
	はい	どちら か	いいえ		
① 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	◎	1	0	・マニュアルを制作している。	
	◎	4	0		
② 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	◎	0	0	・固定化しないように企画していく。 ・年に2回避難訓練を行っている。	
	◎	5	0		
③ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	◎	2	0	・社内研修を行っている。 ・研修機会をもっと増やしても良いと思う。	
	◎	4	0		
④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	◎	4	0	・身体拘束についての説明が不十分などところがある。契約時に説明はしているが、面談時などにも必ず確認をしていく。順次計画書に記載をしていく。	
	◎	1	0		

非常時等の対応

H30年度 ガイドライン 自己評価・保護者評価 まとめ

⑤	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	○	3	2	0	事業所で飲食を提供しており医師から食物アレルギーの診断がある利用者に関しては、診断書を頂いている。	
⑥	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	5	0	0	シフトにより全職員で検討できない場合は、内容を全職員に回覧している。	
<p>非常時等の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非常災害の発生に備え、年に2回の避難訓練を継続していく。訓練が固定化しないよう気をつけながら、どんな状況にも対応できるように訓練内容にしていく。 ・事故や虐待の防止の為に社内研修を行い、職員の知識を深めていく。 ・身体拘束については、早急に計画に盛り込み、説明する機会を増やしていく。 							

子エック項目	はい	どちらか	いいえ	職員 自己評価	保護者 ご意見
① 子どもは通所を楽しみにしているか	○	○			・子どもは通所を楽しみにしている。
② 事業所の支援に満足しているか	○	○			・個別療育をして貰い、子どもの成長を感じられても感謝している。
<p>【まとめ・考察】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後、満足度をより高める為に職員の専門性を高め、子どもが楽しめる療育的活動を増やし、子どもや保護者のニーズに沿ったサービスの提供 					

H30年度 ガイドライン
自己評価・保護者評価 まとめ

共に努めていく。